

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・重度・重複学級・1グループ		担当者名	○細田 洪平
教科・領域名		数学			
ね ら い		(1)数量や図形などについての基礎的な原理・法則などを理解するとともに、表現する技能を身に付けるようにする。 (2)数量や図形などの性質を見いだし考察する力、事象を簡潔に表現する力を養う。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返って粘り強く考えたり、数学を身近な生活に活用しようとする態度を養う。			
曜日・校時・時間		月曜日・5時間目・11:40～12:30 木曜日・4時間目・10:45～11:35			
指導場所		1年A組 教室			
年間授業時数		74.0 時間			
使用教科書		さわって学べる算数図鑑[学研プラス]			
月	単元名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	形をはめてみよう	7	○具体物を操作し、ものの類別や分類・整理をすることができる。 □プットイン課題、型はめ課題に取り組み、形が同じものを選んだり、形を観点に区別したりする。(知識・技能) □対象物に注意を向け、対象物の存在に気づき、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。(思考・判断・表現)	・終わりの分かりやすい教材・教具を用意する。	
5	形をはめてみよう	7	○具体物を操作し、ものの類別や分類・整理をすることができる。 □プットイン課題、型はめ課題、色の分類課題、1対1対応課題に取り組み、形を観点に区別したり、関連の深い一対のものを組み合わせたりする。(知識・技能) □対象物に注意を向け、対象物の存在に気づき、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。(思考・判断・表現)	・個々の手の操作性に合った、終わりの分かりやすい教材・教具を用意する。 ・ICT機器を活用する。	
6	色を分けてみよう	9	○具体物を操作し、1から3までの数をかぞえたり、まとめたりすることができる。 □プットイン課題、型はめ課題、色の分類課題、1対1対応課題、3までの数量の弁別課題に取り組み、5までの範囲で数唱をしたり、3までの範囲で具体物を取ったりする。(知識・技能) □数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気づき、それらを学習や生活で生かそうとしている。(思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)	・終わりの分かりやすい教材・教具を用意する。 ・支援を徐々に減らす。 ・ICT機器を活用する。	
7		5			
9	大きさを比べてみよう	7	○身の回りにある具体物の大きさに関わる数学的活動を通して、量の大きさや量の違いについての感覚を養う。 □身の回りのものの上下や前後、形の違い、量の大きさに気付くことができる。(知識・技能) □身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。(思考・判断・表現) □数量や図形に気づき、数学の学習に関心をもって取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・終わりの分かりやすい教材・教具を用意する。 ・支援を徐々に減らす。 ・ICT機器を活用する。	
10		7			
11	お金で支払おう	8	○簡単な買い物のロールプレイなどの金銭を扱う学習を通して、金銭を扱おうとする態度を養う。 □身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとする。(知識・技能) □金銭の扱いについて関心をもつ。(思考・判断・表現)	・金種の分かりやすい教材・教具を用意する。 ・支援を徐々に減らす。 ・ICT機器を活用する。	
12	数量を比べてみよう	7	○3までの数量の違いを比べ、違いに気付く。 □ものの有無や3までの数的要素に気づき、身の回りのものの数に関心をもって関わることについての技能を身に付け、数量の違いを知る。(知識・技能) □身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心をもってかかわる。(思考・判断・表現) □数量や図形に気づき、数学の学習に関心をもって取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・数量の違いが視覚的に分かりやすい教材・教具を用意する。 ・具体物を用意して比較する。 ・ICT機器を活用する。	
1		4			
2		7			
3	時間を計ってみよう	6	○タイマーや時計を使って短い時間の違いを感じる。 □時間(秒など)を計る。(知識・技能) □タイマーを見て、時間の終わりを意識して行動しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・タイマーや時計を使って、体験的に学べるようにする。 ・ICT機器を活用する。	
備考		※年間を通じて、生活に必要な算数に関する個別課題(型はめ、パズル、ひも通し、ペグさし等)に取り組む。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・2グループ		担当者名	○渡邊 裕久
教科・領域名		数学			
ね ら い		(1)数量や図について基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付ける。 (2)基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔に表現する力を養う。 (3)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、数学で学んだことを身近な生活に生かそうとしている。			
曜日・校時・時間		月曜日・5時間目・11:40～12:30 木曜日・4時間目・10:45～11:35			
指導場所		1年C組 教室			
年間授業時数		74.0 時間			
使用教科書		さわって学べる算数図鑑[学研プラス]			
月	単元名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	数を比べよう	7	○10までの数の概念や表し方について分かり、ものと数との関係に関心をもって関わる ことについての技能を身に付ける。 □具体物等を操作しながら、10までの数の大小を比較する。(知識・技能) □具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する。 (思考・判断・表現)	ドットカードを提示して数の概念を 繰り返し学習できるようにする。	
5	足し算、引き算をしよう 位置を表してみよう	7	○10までの数の加法や減法が正確にできる。 □ボールやおはじきなどの具体物を用いて、10までの数の加法・減法ができる。 (知識・技能) □一つの数を二つに分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表す。 (思考・判断・表現)	ゲームの中に足し算、引き算を用 いて、楽しみながら学習する。	
6	位置を表してみよう	9	○身の回りのものの上下左右や前後に気付き、ものを配置したり、弁別したりすることが できる。 □具体物を操作しながら位置関係が分かる。(知識・技能) □身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり形の違いを捉えたりする。 (思考・判断・表現)	具体物を利用して、上下左右など の位置を、学習できるようにする。	
7	時刻を読んでみよう	5	○長針と短針の位置から、正しく時刻を読むことができる。 □時間の単位(時、分)について知り、それらの関係を理解する。 (知識・技能) □時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結びつけて表す。 (思考・判断・表現)	実物の時計や、映像を提示して繰 り返し学習できる状況を設定す る。	
9	カレンダーを読んでみよう	7	○「昨日」「今日」「明日」が分かる。1週間、1か月の日数の単位が分かる。 □カレンダーを見て提示された日にちが分かる。(知識・技能) □1週間、1か月の日数の単位が分かる。(知識・技能) □カレンダーを見て、「昨日」「今日」「明日」が分かり、互いに発表し合う。 (思考・判断・表現)	実際のカレンダーを使用して、「昨 日」「今日」「明日」を区別してシー ルを貼り、学習の定着を図る。	
10	金種を理解しよう	7	○金種について正しく理解できる。金銭を用いて買い物をする素地を養う。 □4種の硬貨模型を用いて、金種と金額のマッチングをする。提示された金額を選択す る。(知識・技能) □金額に合わせた金種の組み合わせを考える。(思考・判断・表現) □簡単な買い物のロールプレイなどに、意欲的に取り組もうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	紙幣や硬貨があることに触れ、金 額を読み取る活動に取り組む。買 い物の場面を設定し、お金を支払 う練習をし、活動の場面を設ける。	
11		8			
12		7			
1	長さを比べよう	4	○身の回りの物の長さを測り、長さの量が分かる。 □身の回りにある具体物の長さに着目し、その違いが分かり、その対象の長さを測る。 (知識・技能) □長さに着目し、2つの具体物に対して、どちらかを基準にして他方と比べる。 (思考・判断・表現)	明確に違いの分かるものを比べる 活動から始め、徐々に難易度を上 げる。	
2	重さを比べよう	7	○身の回りの物の重さを量り、重さの量が分かる。 □身の回りにある具体物の重さに着目し、その違いが分かり、その対象の重さを量る。 (知識・技能) □身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて量を比較したり、量の大小及び相等 関係を表現したりする。(思考・判断・表現)	明確に違いの分かるものを比べる 活動から始め、徐々に難易度を上 げる。	
3	形を仲間分けしよう	6	○丸や三角、四角という名称を知り、共通点や相違点を考え、分類できる。 □身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角という名称を知る。(知識・技 能) □身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集め たりする。(思考・判断・表現)	簡単な図形を提示し、身の回りに 同じ形のものを探す活動を行いな がら、個別の理解度に応じて難易 度を上げる。	
備 考		・年間を通して、計算や日付、曜日の学習を行い、日常生活に即した授業展開をする。また、各自の 習熟度に合わせた個別学習を行う。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・3グループ		担当者名	○島田 颯太
教科・領域名		数学			
ね ら い		(1)数量や図形について基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数学的に捉えることができる。 (2)日常の事象を数理的に捉えて考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔に表現したりすることができる。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、粘り強く考えたり、数学を身近な生活や学習に活用しようとしている。			
曜日・校時・時間		月曜日・4時間目・10:45～11:35 木曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		1年D組			
年間授業時数		74.0 時間			
使用教科書		さわって学べる算数図鑑[学研プラス]			
月	単元名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	足し算、引き算、掛け算をしよう	7	○加法、減法及び乗法の基礎的知識を知り、正しく計算しようとする。 □100までの数の概念や表し方、加法、減法及び乗法の性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付ける。(知識・技能) □日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する。(思考・判断・表現) □数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・ゲームの中に四則計算を用いて、楽しみながら学習する。 ・数を具体物や図で表現し、式と関連付けられるようにする。	
5		7			
6	時刻を読んでみよう	9	○長針と短針の位置から、正しく時刻を読むことができる。 □時間の単位(時、分)について知り、それらの関係を理解する。(知識・技能) □時計の指し示す時刻を比べ、時間の変化を分かろうとする。(思考・判断・表現) □身近な生活の時刻などを基に、自分で工夫して時刻や時間の変化を求めようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・適宜、時計の模型を用いる。 ・学校生活の時刻など、身近な題材を取り上げて発問し、生徒の理解につなげる。	
7		5			
9	カレンダーを読んでみよう	7	○時間の単位(月、日、曜日)について知り、それらの関係を理解する。 □カレンダーに表示される日付や曜日を、正しく読める。(知識・技能) □カレンダーの指し示す日付から、月や曜日の変化や日付の変化を分かろうとする。(思考・判断・表現)	・日付や、1週間、1か月の日数について確認する機会を意図的に設定する。	
10	必要な金額を考えよう	7	○金銭を用いて買い物をする素地を養う。小遣い帳のつけ方を知る。 □指定された金額や品物に合わせて金銭を選ぶことができる。(知識・技能) □選んだ品物の値段から必要な金銭を考え、適した金銭を組み合わせ支払うことができる。(思考・判断・表現) □学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・適宜、お金の模型を用いる。 ・2桁、3桁の加法、減法には必要に応じて計算機を用いる。	
11		8			
12		7			
1	長さを比べよう	4	○身の回りの物の長さを測り、単位を知る。長さの比べ方を知る。 □身の回りにある長さの単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付ける。(知識・技能) □身の回りにある長さの単位に着目し、目的に応じて比較したり、大小及び相等関係を表現したりする。(思考・判断・表現)	・明確に違いの分かるものを比べる活動から始め、徐々に難易度を上げる。	
2	重さを比べよう	7	○身の回りの物の重さを量り、単位を知る。重さの比べ方を知る。 □身の回りにある重さの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付ける。(知識・技能) □身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて比較したり、大小及び相等関係を表現したりする。(思考・判断・表現)	・明確に違いの分かるものを比べる活動から始め、徐々に難易度を上げる。	
3	図形を仲間分けしよう	6	○丸や三角、四角という名称を知り、共通点や相違点を考え、分類できる。 □身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角という名称を知る。(知識・技能) □身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりする。(思考・判断・表現)	・適宜、操作しやすいマグネット付き図形カードや立体図形模型を用いる。	
備 考		・年間を通して、計算や日付、曜日の学習を行い、日常生活に即した授業展開をする。また、各自の習熟度に合わせた個別学習を行う。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・4グループ		担当者名	○近藤 匠
教科・領域名		数学			
ね ら い		(1)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数学的に処理することができる。 (2)日常の事象を数理的に捉えて考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔に表現したりすることができる。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする。			
曜日・校時・時間		月曜日・4時間目・10:45～11:35 木曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		1年B組教室			
年間授業時数		74.0 時間			
使用教科書		さわって学べる算数図鑑[学研プラス]			
月	単元名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	足し算、引き算をしよう	7	○加法、減法及び乗法の基礎的知識を知り、正しく計算しようとする。 □加法及び減法の性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付ける。(知識・技能) □日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する。(思考・判断・表現)	類似した問題を解くことで基礎的学力が定着できるようにする。	
5	式を立てよう	7	○文章題を読み、式を用いて答えを求めることができる。 □日常生活に関わる数学の問題を、具体物や式などを用いて解決し、答えを求める。(知識・技能) □問題状況を整理して、解決の手がかりを見付けようとしている。 (思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)	文章の必要な個所にラインを引いて分かりやすくしてから式を立てる。	
6	時刻を読んでみよう	9	○長針と短針の位置から、正しく時刻を読むことができる。 □時間の単位(時、分)について知り、それらの関係を理解する。 (知識・技能) □時計の指し示す時刻を比べ、時間の変化を分かろうとする。 (思考・判断・表現) □身近な生活の時刻などを基に、自分で工夫して時刻や時間の変化を求めようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	時計の読み方や時計板を使った時間の数え方について全体で確認してから計算問題に取り組む。	
7		5			
9	おおよその数	7	○四捨五入の方法を学ぶ。 □四捨五入が分かる。(知識・技能) □四捨五入を使って大きい数同士の計算をする。(思考・判断・表現) □生活上でおおよその数が分かる。(主体的に学習に取り組む態度)	四捨五入の便利なところを考え、利用できるようにする。	
10	必要な金額を考えよう	7	○金銭を用いて買い物をする素地を養う。小遣い帳のつけ方を知る。 □指定された金額や品物に合わせて金銭を選ぶことができる。(知識・技能) □選んだ品物の値段から必要な金銭を考え、適した金銭を組み合わせ支払うことができる。(思考・判断・表現) □学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	実物のレシートを使って金額の読み取りを行う。 お小遣い帳のサンプルに、情報を書き込み、電卓を併用して計算を行う。	
11		8			
12		7			
1	カレンダーを読もう	4	○時間の単位(月、日、曜日)について知り、それらの関係を理解する。 □カレンダーに表示される日付や曜日を、正しく読める。(知識・技能) □カレンダーの指し示す日付から、月や曜日の変化や日付の変化を分かろうとする。 (思考・判断・表現)	実物のカレンダーや、パソコンを使用して暦の計算を行う。	
2	長さの単位を知ろう	7	○身の回りの物の長さを測り、単位を知る。長さの比べ方を知る。 □身の回りにある長さの単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付ける。(知識・技能)□身の回りにある長さの単位に着目し、目的に応じて比較したり、大小及び相等関係を表現したりする。(思考・判断・表現)	1mの紐や、メジャーを使って図る前におおよその大きさを考えさせる。	
3	重さの単位を知ろう	6	○身の回りの物の重さを量り、単位を知る。重さの比べ方を知る。 □身の回りにある重さの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付ける。(知識・技能)□身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて比較したり、大小及び相等関係を表現したりする。(思考・判断・表現)	見た目や持った感じでどのくらいか予想してから重さを量る。	
備 考					

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・5グループ		担当者名	○渡邊 裕久
教科・領域名		数学			
ね ら い		(1)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数学的に処理することができる。 (2)日常の事象を数理的に捉えて考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したりすることができる。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かすことができる。			
曜日・校時・時間		月曜日・7時間目・14:15～15:05 木曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		1年E組教室			
年間授業時数		74.0 時間			
使用教科書		改定新版くらしに役立つ数学(東洋館出版社)			
月	単元名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	足し算、引き算、掛け算、割り算をしよう	7	○四則計算の基礎的な問題に取り組み、計算の方法を知る。 □3位数程度の整数の概念について理解し、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付ける。(知識・技能) □具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えたり、関連付けて考えたりする。(思考・判断・表現)	類似した問題を解くことで基礎的学力が定着できるようにする。	
5	混合算をしよう	7	○四則が入り混じった計算の解き方を知り、答えを求める。 □四則が混在する計算式について、法則を知る。(知識・技能) □計算の順序について考え、答えを導き出そうとしている。 (思考・判断・表現)	計算の法則を全体で確認した後で計算問題に取り組む。	
6	式を立てよう	9	○文章題を読み、正しい式を立て、答えを求めることができる。 □日常生活に関わる数学の問題を、具体物や式などを用いて解決し、答えを求める。(知識・技能) □問題状況を整理して、解決の手がかりを見付けようとしている。 (思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)	文章の必要な個所にラインを引いて分かりやすくしてから式を立てる。	
7	時刻や時間を求めよう①	5	○1時間前や後など、時刻と時刻の間にある時間を求める。 □時間の単位を知り、日常生活に必要な時間や時刻を求める。(知識・技能) □時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かそうとしている。 (思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)	時計の読み方や時計板を使った時間の数え方について全体で確認してから計算問題に取り組む。	
9	時刻や時間を求めよう②	7	○所要時間の計算、出発時刻の計算ができる。 □時計の文字盤や数直線などを手掛かりに所要時間や出発時刻の計算をする。 (思考・判断・表現) □時間や時刻を実生活と結び付けて考え、時間の管理に生かそうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	時計の読み方や時計版を使った時間の数え方について全体で確認してから計算問題に取り組む。	
10	支払いをしよう①	7	○ちょうどの金額、おつりの出る金額を出すことができる。 □買い物のロールプレイ等を通して、貨幣を組み合わせ、正しい金額を出す。 (思考・判断・表現) □数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、お金の計算をしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	おつりがまとまるような小銭の出し方についても触れる。	
11	支払いをしよう②	8	○割引された商品の値段を求め、日常生活に必要なことを知る。 □10分の1の大きさの数及びその表し方について知る。(知識・技能) □数直線などを手掛かりに、割合を小数や分数で表し、割引後の値段を求めようとしている。 (思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)	割引や、パーセントの計算の時には適宜計算機の利用を取り入れる。	
12	家計簿をつけてみよう	7	○家計簿を活用して、収支の差を理解することができる。 □レシートの値段を家計簿に正確に転記する。(知識・技能) □収入と支出の差を求め、貯金額を考えるなど、学んだことを生活に生かそうとしている。 (思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)	家計簿の記入をの学習について家庭にも呼び掛け、レシートの実物を持ち込んで使用する。	
1	カレンダーを読もう	4	○時間の単位(月、日、曜日)について知り、それらの関係を理解する。 □カレンダーに表示される日付や曜日を、正しく読める。(知識・技能) □カレンダーの指し示す日付から、月や曜日の変化や日付の変化を分かろうとする。 (思考・判断・表現)	実物のカレンダーや、パソコンを使用して暦の計算を行う。	
2	長さを測ってみよう	7	○身の回りの物の長さを測り、単位を知る。長さの比べ方を知る。 □長さの単位[ミリメートル、センチメートル、メートル、キロメートル]について 知り、測定の意味を理解する。(知識・技能) □身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりする(思考・判断・表現)	1mの紐や、メジャーを使って図る前におおよその大きさを考えさせる。	
3	重さを量ってみよう	6	○身の回りの物の重さを量り、単位を知る。重さの比べ方を知る。 □重さの単位[グラム、キログラム]について知り、測定の意味を理解する。(知識・技能) □身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりする。(思考・判断・表現)	見た目や持った感じでどのくらいか予想させてから重さを量る。	
備 考					

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・6グループ		担当者名	○渡邊 裕久
教科・領域名		数学			
ね ら い		(1)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数学的に処理することができる。 (2)日常の事象を数理的に捉えて考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したりすることができる。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かすことができる。			
曜日・校時・時間		月曜日・6時間目・13:20～14:10 木曜日・6時間目・13:20～14:10			
指導場所		1年F組教室			
年間授業時数		74.0 時間			
使用教科書		改定新版くらしに役立つ数学(東洋館出版社)			
月	単元名	指導時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	足し算、引き算、掛け算、割り算をしよう	7	○四則計算の基礎的な問題に取り組み、計算の方法を知る。 □3位数程度の整数の概念について理解し、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付ける。(知識・技能) □具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えたり、関連付けて考えたりする。(思考・判断・表現)	類似した問題を解くことで基礎的学力が定着できるようにする。	
5	混合算をしよう	7	○四則が入り混じった計算の解き方を知り、答えを求める。 □四則が混在する計算式について、法則を知る。(知識・技能) □計算の順序について考え、答えを導き出そうとしている。 (思考・判断・表現)	計算の法則を全体で確認した後で計算問題に取り組む。	
6	式を立てよう	9	○文章題を読み、正しい式を立て、答えを求めることができる。 □日常生活に関わる数学の問題を、具体物や式などを用いて解決し、答えを求める。(知識・技能) □問題状況を整理して、解決の手がかりを見付けようとしている。 (思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)	文章の必要な個所にラインを引いて分かりやすくしてから式を立てる。	
7	時刻や時間を求めよう①	5	○1時間前や後など、時刻と時刻の間にある時間を求める。 □時間の単位を知り、日常生活に必要な時間や時刻を求める。(知識・技能) □時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かそうとしている。 (思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)	時計の読み方や時計板を使った時間の数え方について全体で確認してから計算問題に取り組む。	
9	時刻や時間を求めよう②	7	○所要時間の計算、出発時刻の計算ができる。 □時計の文字盤や数直線などを手掛かりに所要時間や出発時刻の計算をする。 (思考・判断・表現) □時間や時刻を実生活と結び付けて考え、時間の管理に生かそうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	時計の読み方や時計版を使った時間の数え方について全体で確認してから計算問題に取り組む。	
10	支払いをしよう①	7	○ちょうどの金額、おつりの出る金額を出すことができる。 □買い物のロールプレイ等を通して、貨幣を組み合わせ、正しい金額を出す。 (思考・判断・表現) □数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、お金の計算をしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	おつりがまとまるような小銭の出し方についても触れる。	
11	支払いをしよう②	8	○割引された商品の値段を求め、日常生活で必要なことを知る。 □10分の1の大きさの数及びその表し方について知る。(知識・技能) □数直線などを手掛かりに、割合を小数や分数で表し、割引後の値段を求めようとしている。 (思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)	割引や、パーセントの計算の時には適宜計算機の利用を取り入れる。	
12	家計簿をつけてみよう	7	○家計簿を活用して、収支の差を理解することができる。 □レシートの値段を家計簿に正確に転記する。(知識・技能) □収入と支出の差を求め、貯金額を考えるなど、学んだことを生活に生かそうとしている。 (思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)	家計簿の記入をの学習について家庭にも呼び掛け、レシートの実物を持ち込んで使用する。	
1	カレンダーを読もう	4	○時間の単位(月、日、曜日)について知り、それらの関係を理解する。 □カレンダーに表示される日付や曜日を、正しく読める。(知識・技能) □カレンダーの指し示す日付から、月や曜日の変化や日付の変化を分かろうとする。 (思考・判断・表現)	実物のカレンダーや、パソコンを使用して暦の計算を行う。	
2	長さを測ってみよう	7	○身の回りの物の長さを測り、単位を知る。長さの比べ方を知る。 □長さの単位[ミリメートル、センチメートル、メートル、キロメートル]について 知り、測定の意味を理解する。(知識・技能) □身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりする(思考・判断・表現)	1mの紐や、メジャーを使って図る前におおよその大きさを考えさせる。	
3	重さを量ってみよう	6	○身の回りの物の重さを量り、単位を知る。重さの比べ方を知る。 □重さの単位[グラム、キログラム]について知り、測定の意味を理解する。(知識・技能) □身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりする。(思考・判断・表現)	見た目や持った感じでどのくらいか予想させてから重さを量る。	
備 考					